

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒

2021年11月11日

Index

1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

2. 2022年3月期 通期業績予想

(補足資料)

- ・2Q単四半期実績
- ・所在地別実績

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、売上予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

上期実績

- 売上高・営業利益ともに、**増収増益（対前年売上高：127.8%、営業利益：168.5%）**
 - 前年度下期からの検査需要の回復は継続、加えて直接販売エリアの売上伸長などにより、試薬売上を中心に増収し、**全地域・全分野増収**を達成
 - 営業利益は、増収による粗利の増加、プロダクトミックスによる原価率改善などにより、増益

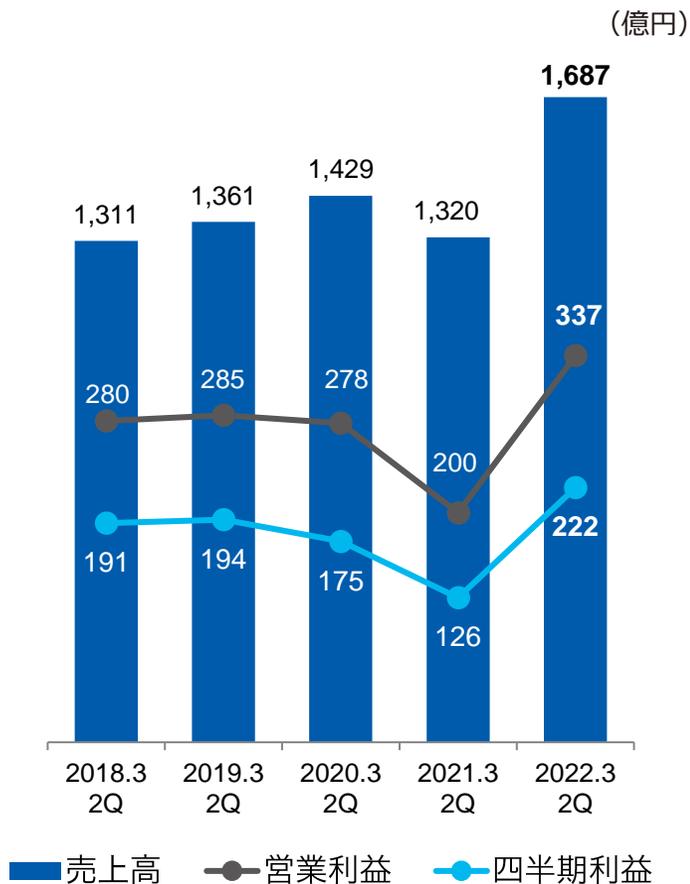
通期業績予想

- 2022年3月期通期業績予想を、**上方修正**
 - 年初公表の計画どおり、売上高・営業利益ともに、**通期計画を達成予定**
 - 上期実績レートおよび円安基調を考慮し、下期の**想定為替レートを変更**

1.

2022年3月期 第2四半期 決算概要

決算総括 (対前年同期)

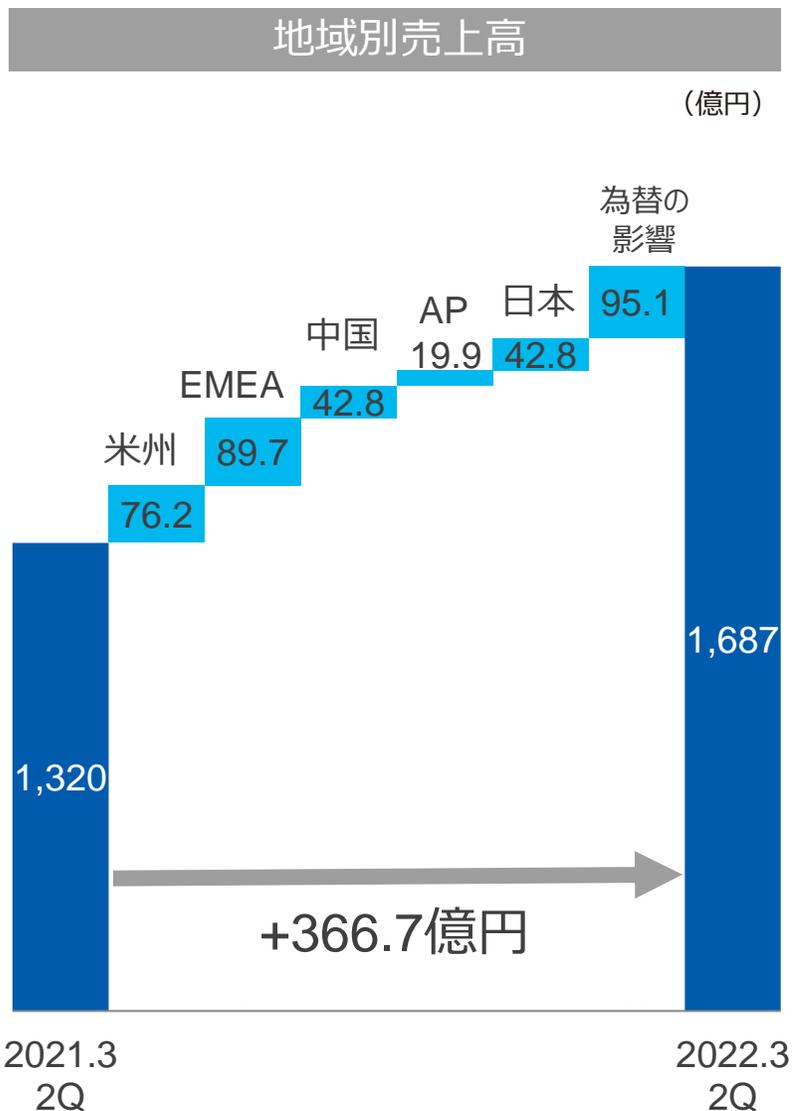


(億円)	2022年3月期 2Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	1,687.5	100%	1,320.8	100%	127.8%
売上原価	789.3	46.8%	647.9	49.1%	121.8%
販売費及び一般管理費	440.6	26.1%	380.7	28.8%	115.7%
研究開発費	116.1	6.9%	97.4	7.4%	119.1%
その他の営業損益	△4.3	△0.3%	5.4	0.4%	-
営業利益	337.1	20.0%	200.0	15.1%	168.5%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	222.4	13.2%	126.5	9.6%	175.8%

- **売上高** 前年に減少した検査需要が想定どおりに回復し、試薬売上の伸長に加え、為替影響（円安）もあり、増収
- **営業利益** 販管費は増加するも、増収による粗利増加および原価率の改善などにより、増益
 - **為替の影響** 売上高 +95.1億円 営業利益 +31.7億円
 - **前年同期為替レート適用の場合** 売上高 120.6% 営業利益 152.7%
- **四半期利益** 営業利益の増加および為替差損益の改善により、増益
 - **為替差損益** △0.1億円（前年同期△7.0億円）

	2022年3月期2Q	前年同期
1USD	109.8円	106.9円
1EUR	130.9円	121.3円
1CNY	17.0円	15.3円

売上高の増減要因（地域別）

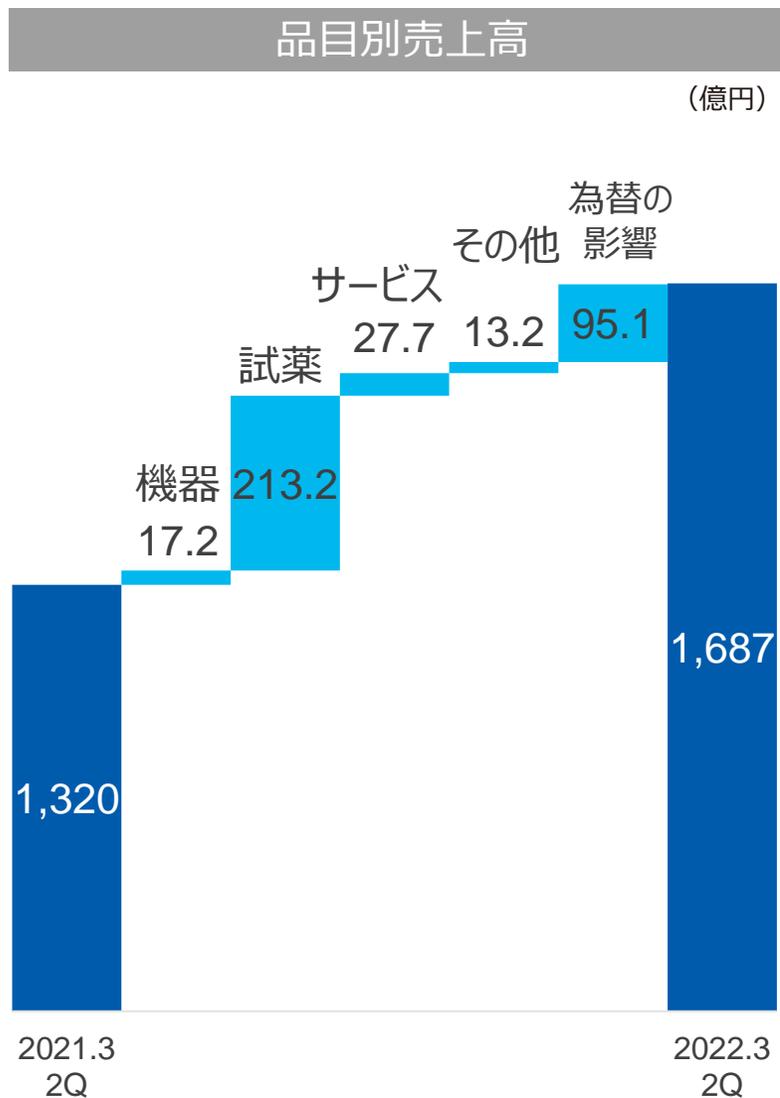


主にヘマトロジー試薬の売上伸長により、全地域において二桁伸長を達成

(億円)	2022年3月期 2Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	現地通貨ベース
売上高	1,687.5	100.0%	127.8%	120.6%*
米州	382.2	22.7%	130.2%	126.7%
EMEA	492.3	29.2%	133.5%	123.6%
中国	421.4	25.0%	125.3%	112.6%
AP	135.8	8.1%	124.5%	118.3%*
日本	255.5	15.0%	120.1%	-

*為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

売上高の増減要因（品目別）



● 機器：

- 北米において、ヘマトロジー機器の設置活動が本格的に再開したことに加え、シーメンス社との協業により尿分野が伸長し、増収
- EMEAにおいても、ヘマトロジー分野などが好調に推移し、増収
- 中国は、前年同期のCOVID-19に伴う医療インフラ強化による需要増の反動などにより、減収

● 試薬：

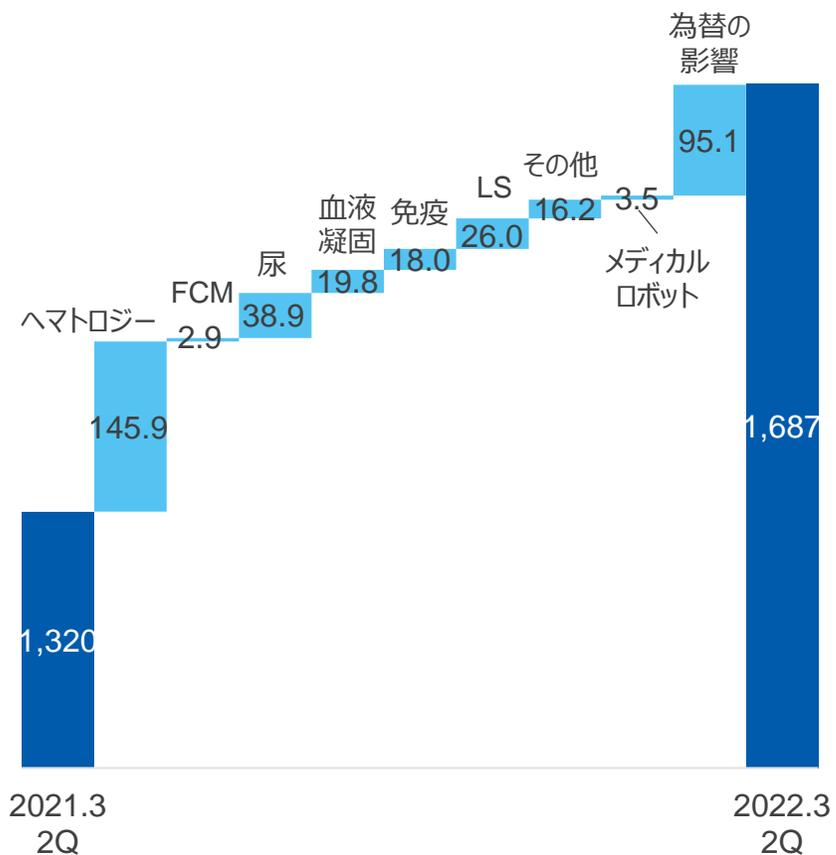
- 検査需要の回復により、ヘマトロジー・尿分野を中心に伸長し、増収
- COVID-19関連検査需要により、血液凝固・免疫・ライフサイエンス分野が伸長し、増収

(億円)	2022年3月期 2Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
機器	395.2	23.4%	111.3%	104.9%
試薬	1,008.8	59.8%	136.9%	128.9%
サービス・その他	283.4	16.8%	124.1%	117.9%

売上高の増減要因（事業別）

事業別売上高

(億円)



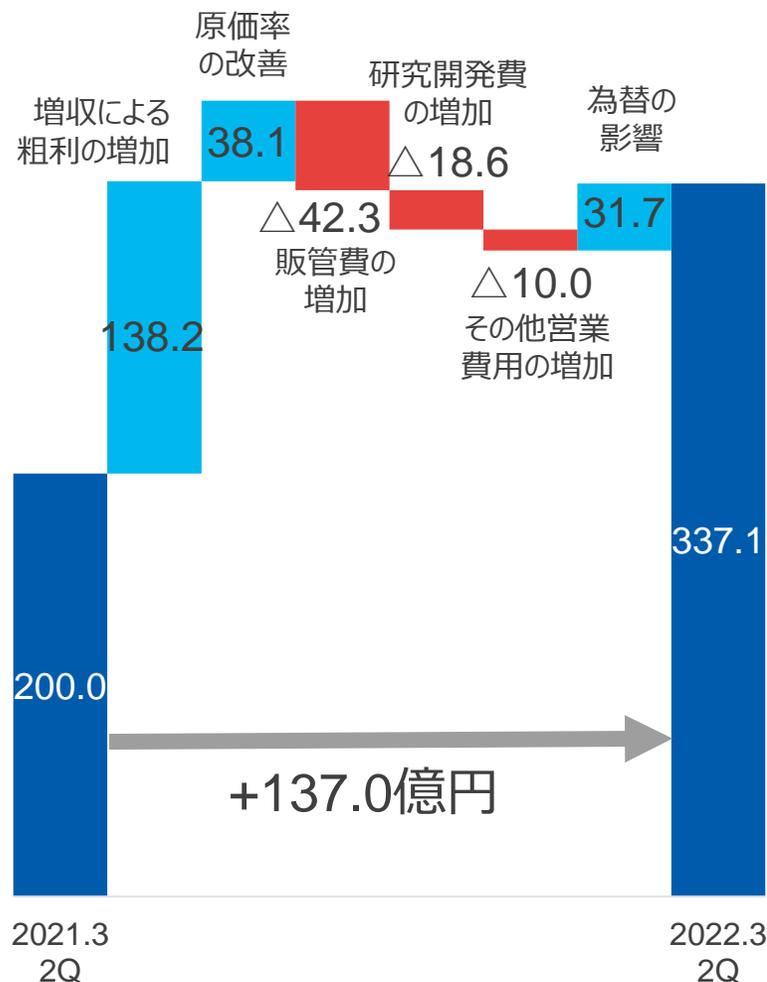
検査需要の回復に加え、直接販売エリアの伸長および COVID-19関連検査の需要継続などにより、全分野で増収

(億円)	2022年3月期 2Q		前年同期比	
	実績	構成比	円ベース	為替影響を除く
売上高	1,687.5	100.0%	127.8%	120.6%
ヘマトロジー	1,000.0	59.3%	124.8%	118.2%
FCM	8.7	0.5%	165.2%	155.4%
尿	128.5	7.6%	157.3%	147.6%
血液凝固	286.8	17.0%	115.9%	108.0%
免疫	86.0	5.1%	135.9%	128.5%
生化学	14.8	0.9%	113.4%	108.9%
ライフサイエンス	82.0	4.9%	159.2%	150.6%
その他	76.8	4.6%	134.4%	126.3%
ダイアグノスティクス事業	1,683.9	99.8%	127.5%	120.3%
メディカルロボット事業	3.5	0.2%	-	-

営業利益の増減要因

営業利益

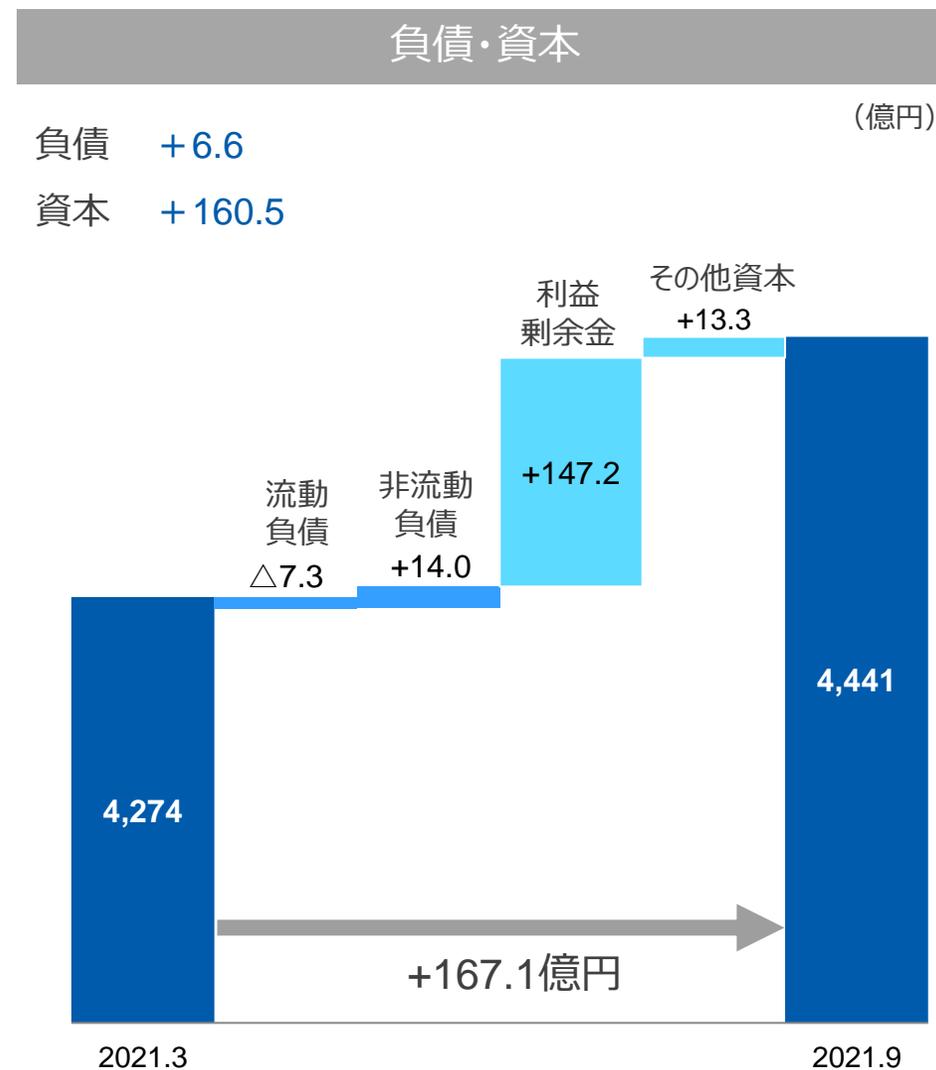
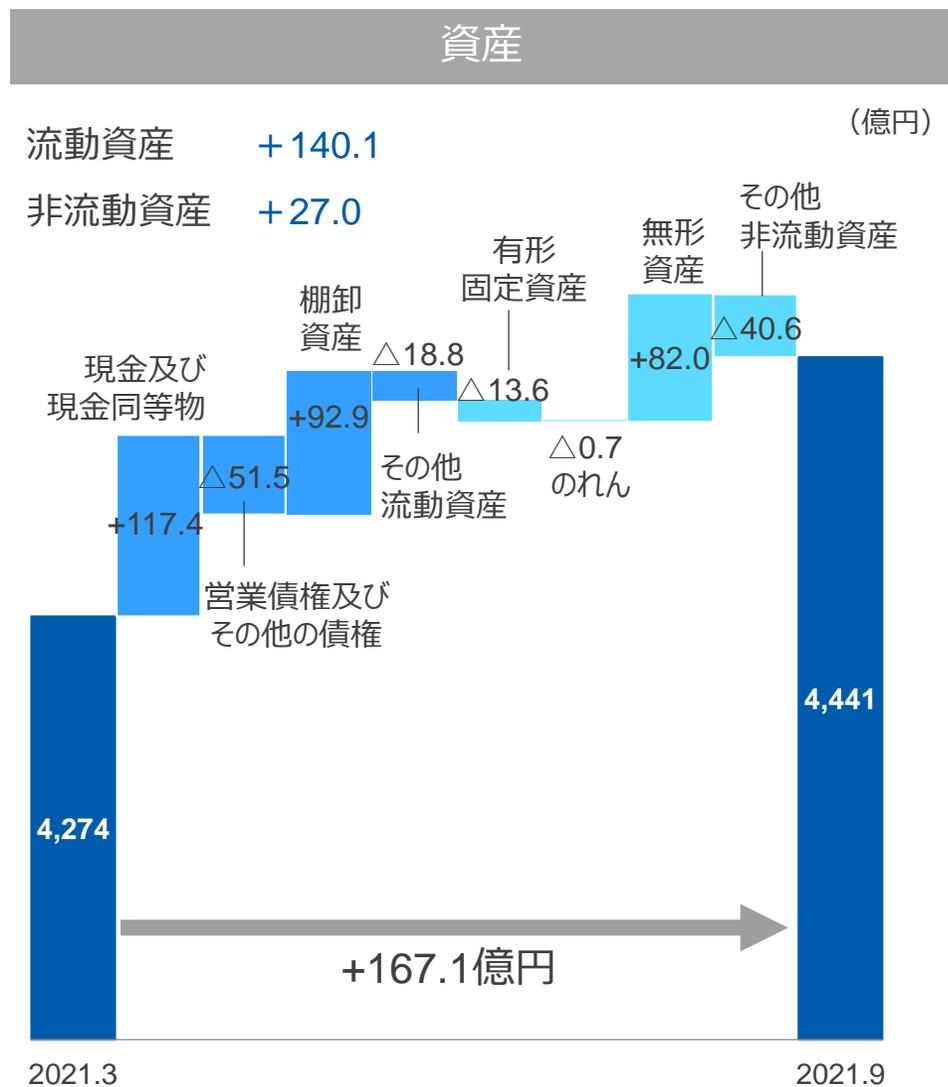
(億円)



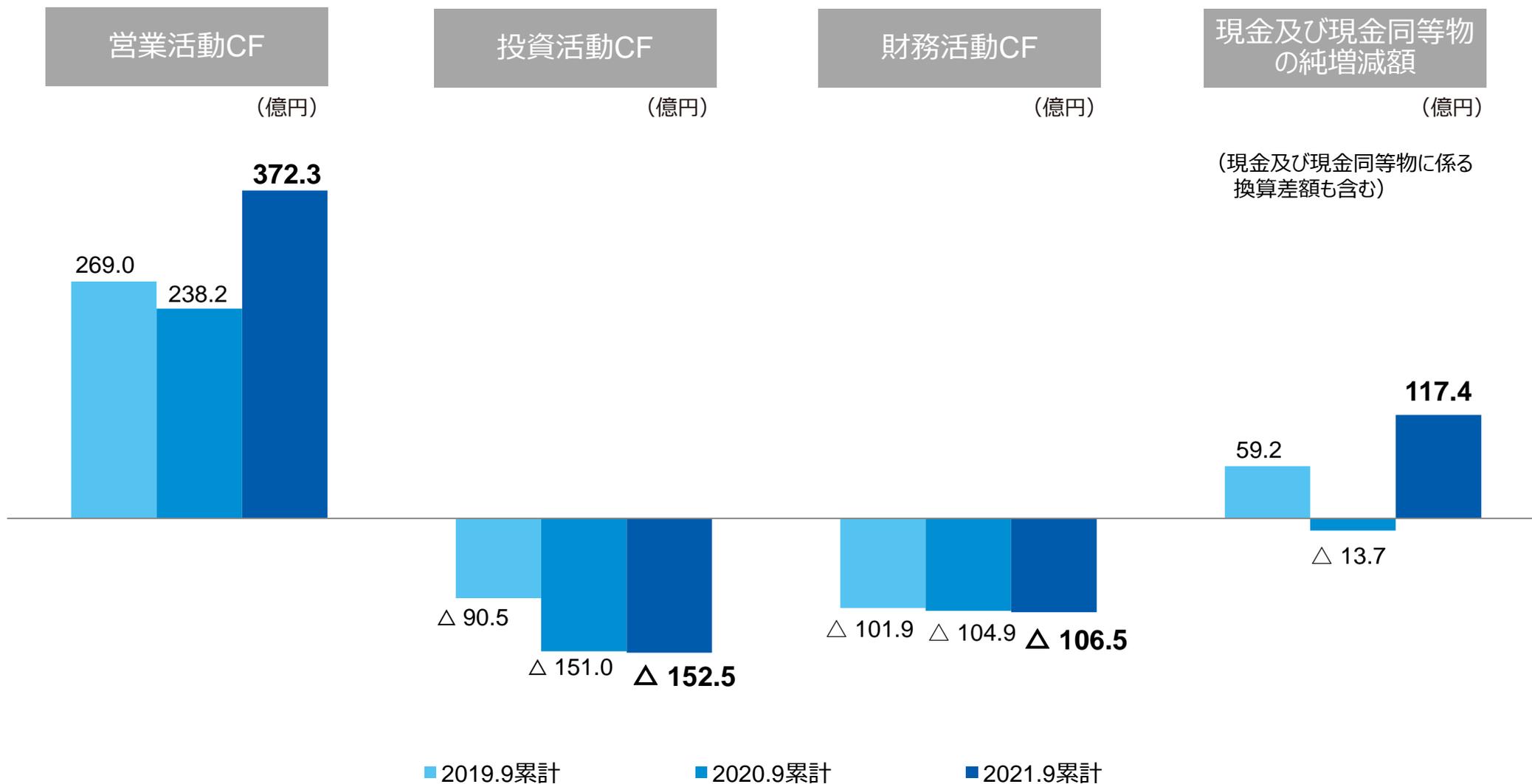
※下記数値・コメントは為替の影響を除く

- 増収による粗利の増加：138.2億円
- 原価率改善による影響：38.1億円（2.4pt 改善）
 - ・ 輸送費高騰など悪化要因はあるも、プロダクトミックス（試薬売上構成比の増加）や、原価率の低い製品の構成比増加などにより、改善
- 販売管理費の増加：42.3億円
 - ・ 各地域における販売・サービス活動再開および直販体制強化などによる経費の増加
 - ・ デジタル化関連費用の増加
- 研究開発費の増加：18.6億円
 - ・ 製品開発への継続投資および薬事関連費用による増加
- その他営業費用の増加：10.0億円
 - ・ 無形資産の減損
- 為替の影響：31.7億円のプラス影響

連結財政状態計算書の増減要因



キャッシュフローの推移



ダイアグノスティクス事業

- 新型コロナウイルス感染症における重症化リスク判定補助として、TARC測定キットの適応追加承認取得（日本）
- 当社の研究開発センター内にPCR検査ラボラトリーを移転、機能拡充（日本）
- EMEAにおいて、CN-3500／CN-6500を発売
- AIベースの細胞分析技術の実用化に向け、シンクサイトとの共同開発および資本提携に関する契約を締結
- キアゲンと、超高感度リキッドバイオプシーNGS技術によるがん領域コンパニオン診断薬に関する戦略的提携に合意

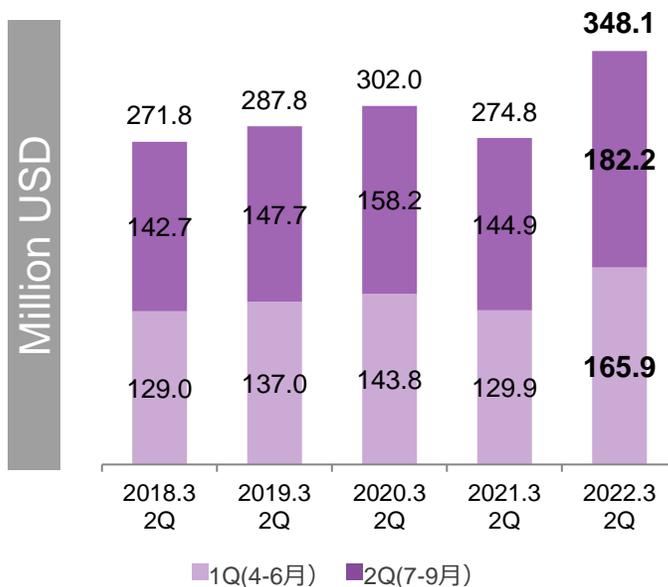
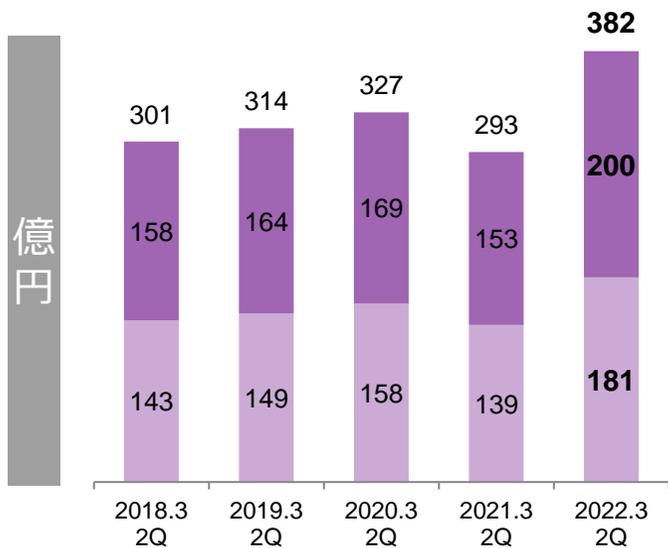
メディカルロボット事業

- 手術支援ロボットシステムの婦人科、消化器科への適応拡大申請を完了（日本）

その他

- 管理職層に続き、一般社員層へのジョブ型人材マネジメントシステムの導入（日本）
- 新市場区分「プライム市場」の上場維持基準に適合、取締役会にて「プライム市場」選択を決議

売上高

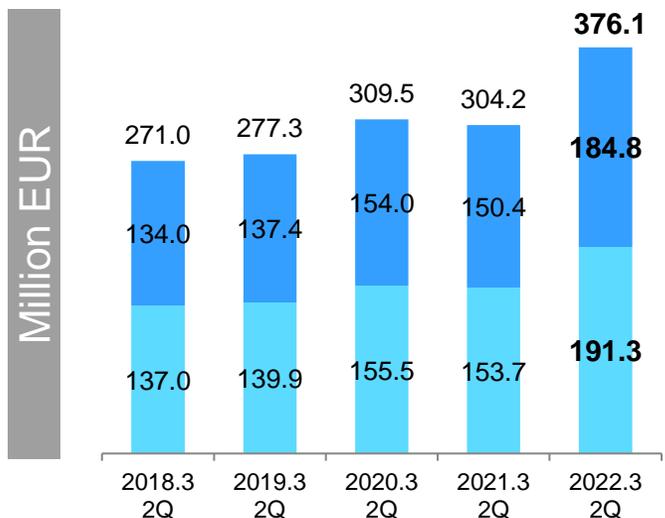
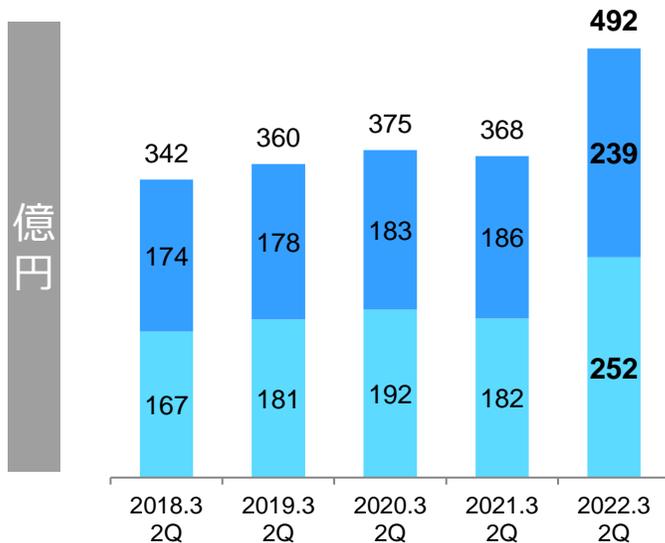


(億円)	2022年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	382.2	293.6	130.2%	126.7%
機器	97.8	76.6	127.6%	124.2%
試薬	178.5	131.2	136.0%	132.3%
サービス・その他	105.8	85.6	123.6%	120.3%

COVID-19影響からの回復により、ヘマトロジー分野の機器・試薬売上が伸長したことに加え、北米における尿分野の伸長もあり、増収

- 機器：主に米国においてヘマトロジー機器設置が堅調に推移したほか、シーメンス社との協業による尿分野の伸長もあり、増収
- 試薬：COVID-19影響の回復により、ヘマトロジーおよび北米の尿分野が伸長し、増収

売上高



■ 1Q(4-6月) ■ 2Q(7-9月)

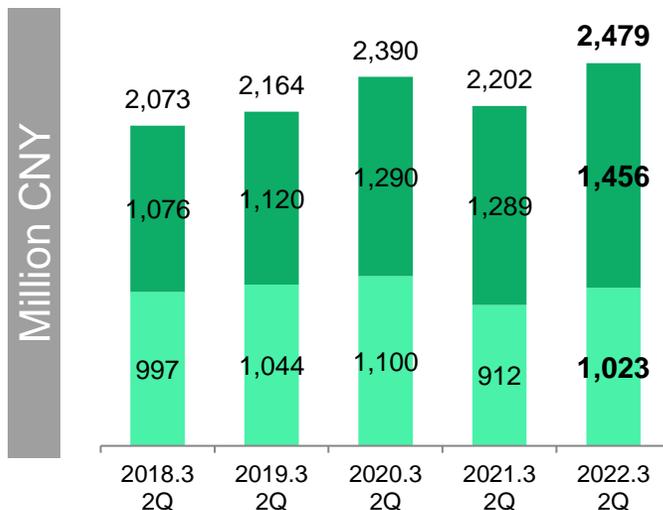
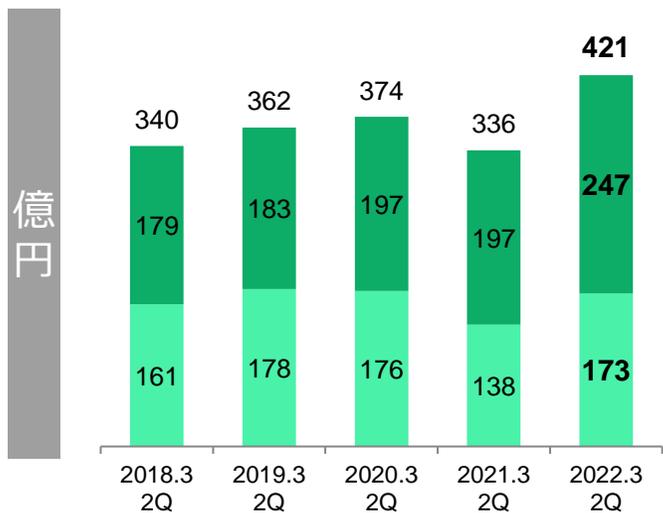
(億円)	2022年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	492.3	368.8	133.5%	123.6%
機器	125.6	108.7	115.6%	106.7%
試薬	286.7	199.0	144.1%	133.6%
サービス・その他	79.9	61.0	130.9%	121.4%

入札案件の獲得などにより、機器売上が堅調に推移したことに加え、各地域で試薬売上が回復し、増収

- 機器：医療インフラへの投資が活発なロシアや東欧などにおいて、入札案件を獲得するなど、ヘマトロジー・尿・血液凝固分野が伸長し、増収
- 試薬：ヘマトロジー・尿・ライフサイエンス分野において検査需要が回復し、売上が伸長したほか、ロシアなどで血液凝固分野の伸長もあり、増収

中国 (地域別)

売上高



■1Q(4-6月) ■2Q(7-9月)

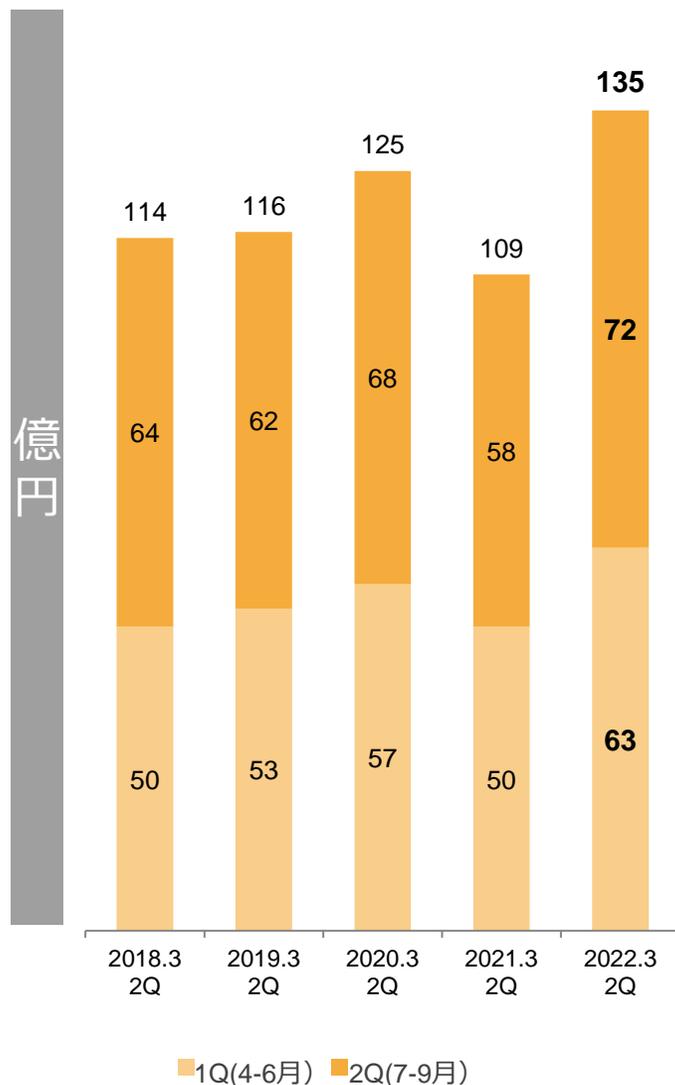
(億円)

	2022年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
			円ベース	現地通貨ベース
売上高	421.4	336.4	125.3%	112.6%
機器	100.1	111.4	89.8%	80.7%
試薬	277.4	190.8	145.4%	130.7%
サービス・その他	43.8	34.1	128.5%	115.4%

前年同期の医療インフラ強化に伴う需要増の影響などにより、機器売上が減収するも試薬売上が伸長し、増収

- 機器：前年同期に需要が高かった尿・血液凝固・免疫分野の影響などにより、減収
- 試薬：COVID-19影響からの回復などにより、ヘマトロジー・血液凝固分野を中心に、全分野で好調に推移し、増収

売上高



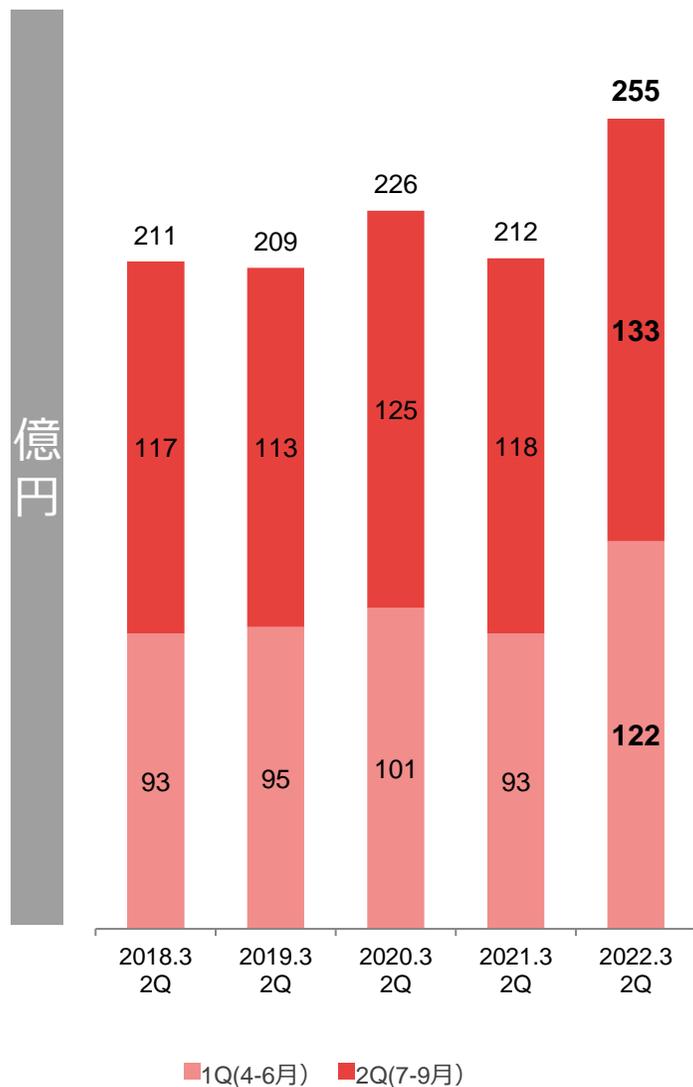
(億円)	2022年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	135.8	109.1	124.5% (118.3%)
機器	31.9	26.3	121.3%
試薬	92.3	73.2	126.1%
サービス・その他	11.5	9.6	120.7%

()は為替の影響を除いた場合

一部の地域を除き、COVID-19影響からの回復により、全分野において売上が2桁伸長し、増収

- 機器：インド、マレーシア、ベトナムおよび韓国がヘマトロジー分野を中心に伸長し、増収
- 試薬：COVID-19影響からの回復およびインドの直接販売によるヘマトロジー分野の伸長に加え、東南アジアにて血液凝固分野の伸長もあり、増収

売上高



(億円)	2022年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 円ベース
売上高	255.5	212.7	120.1%
ダイアグノスティクス事業	252.0	212.7	118.5%
機器	36.6	31.9	114.5%
試薬	173.7	142.8	121.6%
サービス・その他	41.6	37.8	109.9%
メディカルロボット事業	3.5	-	-

尿・血液凝固・免疫分野およびCOVID-19関連検査の需要もあり、増収

- 機器：COVID-19関連による免疫分野の売上伸長に加え、尿・血液凝固分野も伸長し、増収
- 試薬：COVID-19関連検査により、免疫・血液凝固・ライフサイエンス分野が伸長し、増収

2.

2022年3月期 通期業績予想

() 内は、2021年5月公表数値

2022年3月期 連結業績予想

売上高 **3,600億円** (3,500億円) 営業利益 **660億円** (600億円) 営業利益率 **18.3%** (17.1%)
 親会社の所有者に帰属する当期利益 **440億円** (400億円) 当期利益率 **12.2%** (11.4%)

投資計画

設備投資 **390億円**
(有形、無形含む)

減価償却費 **295億円**

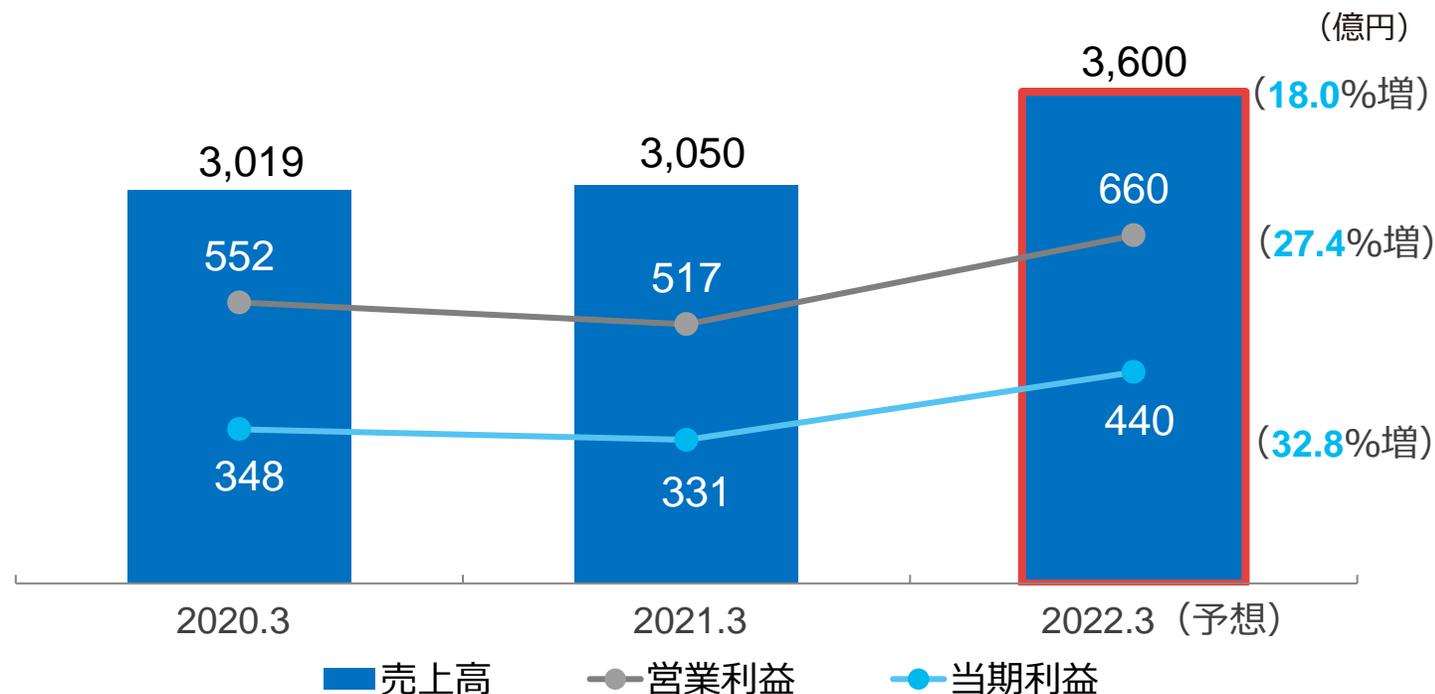
研究開発費 **265億円** (275億円)

● 想定為替レート

	通期想定 (2021年11月修正)	下期 (2021年11月修正)	前期実績 (21年3月期)
1 USD	110.9円	112.0円	106.1円
1 EUR	130.5円	130.0円	123.7円
1 CNY	17.0円	17.0円	15.7円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.8億円	1.8億円
EUR	5.1億円	1.6億円
CNY	58.8億円	45.3億円



下期業績予想の前提条件

- 年初想定どおり、試薬売上の回復および事業計画の着実な進捗により、年初計画を達成すると想定
- 下期も、計画どおりに将来の成長に向けた投資を継続
- 下期の為替レートを 1USD=112.0円、1EUR=130.0円、1CNY=17.0円 と設定

(億円)

	上期累計 (4月-9月)		下期累計 (10月-3月)		通期 (4月-3月)	
	2022.3 実績	前年同期	2022.3 予想	前年同期	2022.3 予想	前年同期
売上高	1,687.5	1,320.8	1,912.4	1,729.9	3,600.0	3,050.7
原価率	46.8%	49.1%	48.1%	49.7%	47.5%	49.4%
販売費及び 一般管理費	440.6	380.7	519.3	427.6	960.0	808.4
研究開発費	116.1	97.4	148.9	127.6	265.0	225.1
営業利益	337.1	200.0	322.8	317.8	660.0	517.9

- 年初予想から配当額は変更なし

	中間	期末	年間	配当性向
2021年3月期	36円	36円	72円	45.4%
2022年3月期 (案)	37円	37円	74円	35.2 %

当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

(補足資料)

2Q単四半期実績（対前年同期）

前年同期に対して販管費・研究開発費は増加するも
増収による粗利増加などにより、増益

	2022年3月期2Q (7月-9月)			2021年3月期2Q (7月-9月)		(億円)
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	
売上高	893.9	100.0%	124.9%	715.7	100.0%	
売上原価	414.5	46.4%	118.8%	349.0	48.8%	
販売費及び 一般管理費	225.6	25.2%	117.8%	191.4	26.8%	
研究開発費	61.1	6.8%	126.5%	48.3	6.8%	
その他の営業損益	△5.9	△0.7%	-	3.6	0.5%	
営業利益	186.5	20.9%	143.0%	130.4	18.2%	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	122.5	13.7%	150.0%	81.6	11.4%	

所在地別実績（売上高・営業利益）



（億円）

		2022年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	356.7	272.0	131.2%	127.6%
	営業利益	17.7	3.7	472.4%	450.3%
EMEA	外部売上高	497.5	371.9	133.8%	123.9%
	営業利益	76.8	36.2	211.9%	196.8%
中国	外部売上高	421.1	335.9	125.4%	112.7%
	営業利益	47.1	12.1	389.1%	350.5%
AP	外部売上高	134.9	108.5	124.4%	-
	営業利益	17.2	9.4	182.5%	-
日本※	外部売上高	277.1	232.4	119.2%	-
	営業利益	189.5	129.5	146.4%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

統合報告書「シスメックスレポート2021」、「サステナビリティデータブック2021」を発行

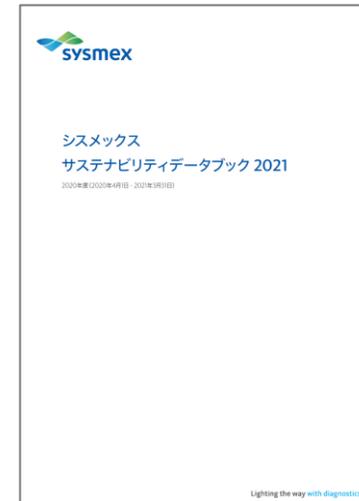
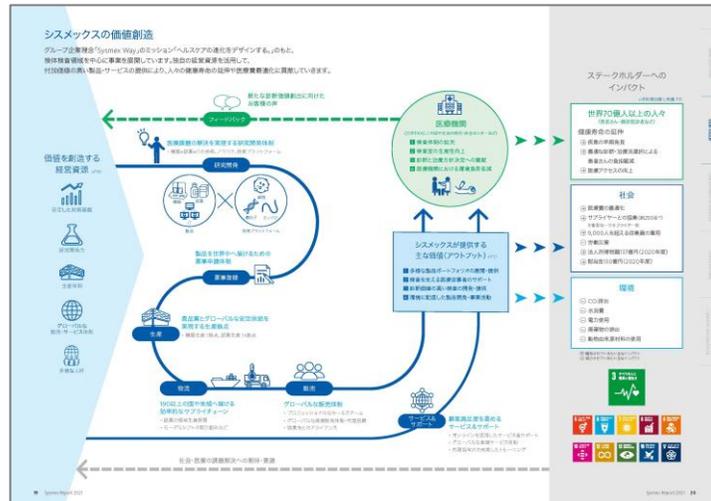


統合報告書「シスメックスレポート2021」

<https://www.sysmex.co.jp/ir/library/annual-reports/index.html>

年度報告書「シスメックス サステナビリティデータブック2021」

<https://www.sysmex.co.jp/csr/report/index.html>



項目	2020年度	2021年度	2022年度	進捗
環境	CO2削減率	100%	100%	達成
社会	ダイバーシティ推進率	100%	100%	達成
経済	ROIC向上率	100%	100%	達成
環境	CO2削減率	100%	100%	達成
社会	ダイバーシティ推進率	100%	100%	達成
経済	ROIC向上率	100%	100%	達成

トピックス

「シスメックスレポート2020」が、
米国アニュアルレポートのコンペティションにて受賞

2020 Vision Awards
Annual Report Competition
・GOLD WINNER WORLDWIDE など



Lighting the way **with diagnostics**